

KHJ秋田ばっけの会便り



KHJ秋田ばっけの会 会報No.100(2024年1月号)

新年もよろしくお願いたします。

能登地震、航空機事故など厳しい辛い幕開けですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

* * *

本人の会「居場所」 1月14日(日)

新年最初の会は、「居場所」から始まりました。初めての方2名を迎えて13名で行いました。St代表代理のご挨拶は、ラジオで聞いたという〈今を生きていますか〉この今を生きるために、今の思いを伝え合いましょう、と。Nhさんの今現在の悩みの相談から始まり、参加者それぞれの経験や考えを伝え合いながら、途中は新年の抱負から、趣味、古着の利用、ファッションまで、実に真剣に楽しそうに語り合っていました。最後は、再びNhさんの話にもどり、Stさんの〈今を大事に〉でお開きになりました。途中の発言からいくつか。〈それぞれ違うことが当たり前〉〈今の感情を否定しなくていい。今そう感じているだけと自分にOKを出す〉〈人を頼るのも大事〉〈まあいいか、も大事〉〈ファッションも自分を表現する一つの手段〉〈まだ起きていないことをクヨクヨ考えるのではなく、今やりたいこと、今しないといけないことをやる〉

* * *

第89回「集い」 1月20日(土)

新年最初の「集い」は、第3週に行いました。初めての参加の方が2名、総勢14名でした。今回は、さきがけM記者、秋田大学大学院の学生Shさんも参加して下さいました。

St代表代理の新年の抱負発表からスタートです。いつものように参加の皆さんから自己紹介も兼ねて新年の計画や情報を話していただきました(聞くだけでもオッケーのルールで)。一人一人の出して下さった話題とそれぞれへの質問や意見の交換は大変濃密でした。初めて参加のThさんが息子さんのことを率直に話して下さいました。質問や意見もたくさん出され、皆で我が事のように考える時間になりました。Thさん、参加し話していただき敬意と感謝でいっぱいです。

皆さんのお話を聞いて心打たれたことが沢山ありました。その中から二つご紹介します。

〈今はまだ何かができるわけではない自分だが、社会のことは気になるし、自分なりの考えや意見を言いたい。〉当事者・経験者のKnさんの発言です。どのような状態にあっても、社会に目を向け、自分の考えを持ちたい、その気持ちを素直に伝えて下さいました。

家族のStさんは、〈この会に参加して半年。社会復帰を願っていたが、現状を静観する気持ちに変わっている。新年早々の地震や事故、東日本大震災などを考えて、取りあえず生きていなければ、という考えになって来ている。今、できることからやってみようと思っている。〉と話して下さいました。

2024年、それぞれの人にとって「いい年」でありますように。

* * *

スタッフ運営ミーティング 14日、20日はそれぞれ短時間の打ち合わせ。17日(水)に『つなぐ・つながる「居場所」in あきた』の案内チラシの郵送作業を6名で、27日(土)に「便り」発送準備作業を5名で行いました。

* * *

秋田ばっけの会 2024年2月の予定

●第90回「集い」

日時；2024年 2月11日(土) 13:30~15:30

会場；秋田市役所内センター3階 洋室2・3

●拡大「居場所」

NHK歳末たすけあい助成事業による『つなぐ・つながる「居場所」in あきた』

日時；2024年 2月24日(土) 13:00~16:00

会場；秋田市役所内センター3階 洋室4

●運営ミーティング 2月11日(土)「集い」終了後に予定しています。



《 報 告 ・ 情 報 ・ 紹 介 》



既にご案内がお手元に届いているかと思いますが、「令和5年度NHK歳末たすけあい助成事業」の助成をうけ、『つなぐ・つながる「居場所」inあきた』～憩いと交流のフェスティバル～を2月24日(土)13:00～16:00、秋田市役所センター3階洋室4を会場に行います。

拡大「居場所」として行いますが、当事者・経験者本人や家族の方々はもちろん、支援の方々や関心をお持ちの皆さんに参加していただき、出会いと交流の場になるとともに、必要とする支援につながるきっかけとなればと考えています。ぜひ、お誘い合わせてご参加下さい。お待ちしております。

チラシは、当事者・経験者のStさんと、家族(兄弟)のKsさんの合作です。二人の共同作業も昨年に増して息がぴったりです。

★ KHJ関係の情報です。

*

KHJ本部から、1月5日、「新年のご挨拶に代えて～令和6年能登半島地震について～」というメールが届きました。KHJの家族会や当事者の方々に連絡の付かない方もおられるとのこと。今、私たちは何ができるか、一人一人に必要なものは何かを皆で考えていきたい、というメッセージでした。

*

*

KHJ本部の全国調査「ひきこもり実態調査」が今年も行われます。調査用紙記入とWeb調査を選択できます。まもなく手元に届きますので、2月の「集い」等に参加の皆さまを中心に、ぜひご協力をお願いします。

*

1月26日(金)午後7時半から「ひきこもり基本法の支部長対話会」がオンラインで行われ、「秋田ばっけの会」からも事務局長が参加しました。

*

※ 訂正とお詫び 前号に誤りがありました。第89回「集い」は「第88回」、1月開催の第88回「集い」は「第89回」と訂正をお願いします。大変失礼いたしました。

- ※新型コロナウイルスも感染の危険がなくなったわけではありませんし、様々な自然災害も起こり得ますので、状況によっては「集い」「居場所」の中止や会場変更などもあります。事前に事務局にお問い合わせ下さい。可能な範囲で皆さまにお知らせしますが、行き届かない点はご了承下さい。
- ※通院などで事務局不在の場合もありますので、ご連絡やお問い合わせは、できればE-mailか携帯電話のSMSをお願いします。
- ※E-mailアドレスを登録または携帯電話の番号をお知らせいただければ、本部からの急なご案内や事務局からの緊急の連絡などがしやすくなります。ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。ご協力よろしくをお願いします。

ご連絡・お問い合わせ・ご希望は下記アドレスへどうぞ。 

KHJ秋田ばっけの会事務局 ; 090-9539-2365
khjakitabakke@gmail.com

- ♡感謝 ・美郷町のSt様から年会費を、秋田市のKk様からコピー用紙を、潟上市のOh様、秋田市のIt様からご寄付をいただきました。
- ・「集い」に参加の皆さま方からカンパやお菓子をたくさんいただきました。『たびだち』もお買い求めいただきました。
- ・電話やメールなどでの連絡、お問い合わせやご相談もたくさんありました。

- ★ 年会費とカンパへのご協力をお願いします。
- * 切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。
- * 送金は、北都銀行 檜山支店 (名義) KHJ秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘 (店番) 015 (口座番号) 8108428

《特集》 「KHJ秋田ばっけの会便り」100号にむけて

皆さんからメッセージをいただきました。



「つながり」や「情報の共有」をととても大切にしているお便りだと感じています。会との空白があっても、「いつでもどうぞ」と伝わってくるのは、そのような配慮があるからだと思います。穏やかな文面の中に、会の視点が根底にあるので力強さがあります。何よりも、定期的に発信し続けていることに敬意を表したいです。
(K f さん)



KHJ秋田ばっけの会便り〔100号〕おめでとうございます。代表の方たちや会員の皆さまの情熱と努力の賜だと思います。

8年近く経つと、親も今は60代、子どもも40代へとそれなりに年月を重ねて来ました。「頑張らない あせらない 元気であるだけでも幸せ」この言葉をモットーに、ゆっくりでもいいから歩いて行きたいと思っています。

最近時間が増えたので、好きな本に珈琲を飲みながらゆったり目を通すと、人生の至福をかみしめる事があります・・・

(N w さん)

「ばっけの会便り」、100号ということですが、期間にして8年半位でしょうか。休まず、ここまで継続して発行するのは、大変なエネルギーだったと思います。本当にいつもありがとうございます。

毎月ポストに届く「便り」は、私にとっては、情報を得たり、参加できない時は、どんな話題だったかと想像したり・・・心の支えのひとつになっています。

「集い」は何でも話せる場所、行きたい時、いつでも行ける場所として、これからも続いて欲しいですし、たくさんの人に広がって欲しいと思っています。

年末、ひきこもりのTV番組で、ロザリンさんの「人は立ち止まったら、・・・また動き出すんです。」という言葉に力をもらいました。

現状は、いつもと変わりありませんが、いつかそういう日が来ることを願っています。焦らず、ゆっくり進んでいきたいと思っていますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。
(I t さん)

私が〔ばっけの会〕に初めて参加したときに感じたのは、カルチャーショックとも言えるような驚きでした。

人から嫌われるのが怖くて、人とのコミュニケーションが苦手で、人付き合いを避けてひきこもり状態だった私。

支援する人・される人ではない対等な人付き合いの場を通して、自分のあり方を見直し鍛えなおす修行の場として参加し始めた〔ばっけの会〕は、いつしか私にとってかけがえのない『居場所』になっていました。

(S t さん)

毎月KHJ秋田ばっけの会便りを送っていただきありがとうございます。便りが100号になるとのことスタッフの皆さんに感謝しています。大変だと思いますがこれからもよろしくお願いします。

働かないで家にいる長男を心配してイライラしている頃、新聞で〔ばっけの会〕があることを知り参加してみました。同じ悩みをもっている皆さんがいる事がわかり心が落ち着きました。その後〔ばっけの会〕からとても素敵な切手を貼った封筒が届いて、とても嬉しかったことを今も忘れることはありません。今、長男は重労働の仕事をしています。

「つなぐ・つながる居場所」で会いたいと思います。皆さんの意見を聞いてみたいこともあります。よろしくお願いします。

(S s さん)



100号おめでとうございます。これからもよろしくお願いします。

当事者・経験者の人からの意見は、時には胸に刺さることもあります。せつかくの気持ち、反芻し自分の引き出しに貯めておき、「今だ」のタイミングで引き出しの中から取り出して娘に伝えている、そんな日常がこれ4年です。一番変わったのは、娘との間の「空気」です。このひと月だけでも、小さな、でも目に見える変化がたくさんありました。これを積み重ねていきたいと思っています。
(K k さん)